

2018.10.20 産業課

## 熊石地域水産試験研究事業について

## ○共同試験事業経過

北大水産学部との共同研究について、八雲町が太平洋と日本海に面し、海洋深層水を取水している魅力的な資源に恵まれていること。また、今後、水産学部のみならず他の学部との連携による研究も計画されており、当町が札幌の本校と函館の水産学部との中間に位置し、地理的条件が整っており、大学側が研究の適地と判断したものである。

北海道日本海側の水産業は、海水温の変動により漁獲量が著しく低迷し、特に、熊石地域は回遊魚のスケトウダラやイカの不漁の影響を大きく受けている。また、ウニ、アワビ、ナマコなどの浅海資源も減少している。

このようなことから、八雲町の地域特性を活かした水産生物等の試験研究を行い、沿岸漁業の振興を目指す。

## ○施設概要

設備 木造 平屋建 1棟 231.87 m<sup>2</sup>  
海水取水ポンプ2台 150 ㍓/分 0.75kw、  
海水タンク 1基 2.5\*2.5\*3 18.75 m<sup>3</sup>  
魚類用 FRP 丸形水槽 12700S 型 直径 4m1 台、6600S 型 直径 3m1 台  
2000S 型 直 1.94m1 台、水槽 500 ㍓ 6 台、  
ウニ用 FRP 角形水槽 2.4 型 5\*1\*0.5 2 台、  
藻類用パンライト水槽 100 ㍓ 2 台、30 ㍓ 6 台、  
町の試験用 コンテナ 500 ㍓×3 台  
暖房機 2 台、餌料用冷蔵庫 1 台、餌料用冷凍庫 1 台、発電機 1 台、プロアー 3 台

職員 臨時職員 1 名 協力隊員 1 名

## ○試験内容

藻類（ダルス） 北大 安井前学部長 川越招聘職員  
試験 道南地区のダルスから種苗作成・冷蔵保存する。  
栽培試験を開始し、飼育時状況を確認する。  
試験で得られた藻体の含有成分を分析する。

ウニ養殖試験 北大 浦準教授

試験 現段階の人工餌料で収入になるか採算性を評価する。

現段階の人工餌料は冷凍流通だが、今後、常温流通可能な餌開発と採算性を評価する。

大規模養殖が可能となれば漁港内等での実証・採算性を評価する。

魚類の増養殖試験 北大 平松準教授 岸村教授

試験 初年度は飼育のしやすいソイ・メバル類の陸上養殖が可能か、成長・生残について検討する。

海藻やウニなどの底質生物の飼育排水での飼育が可能か検討する。

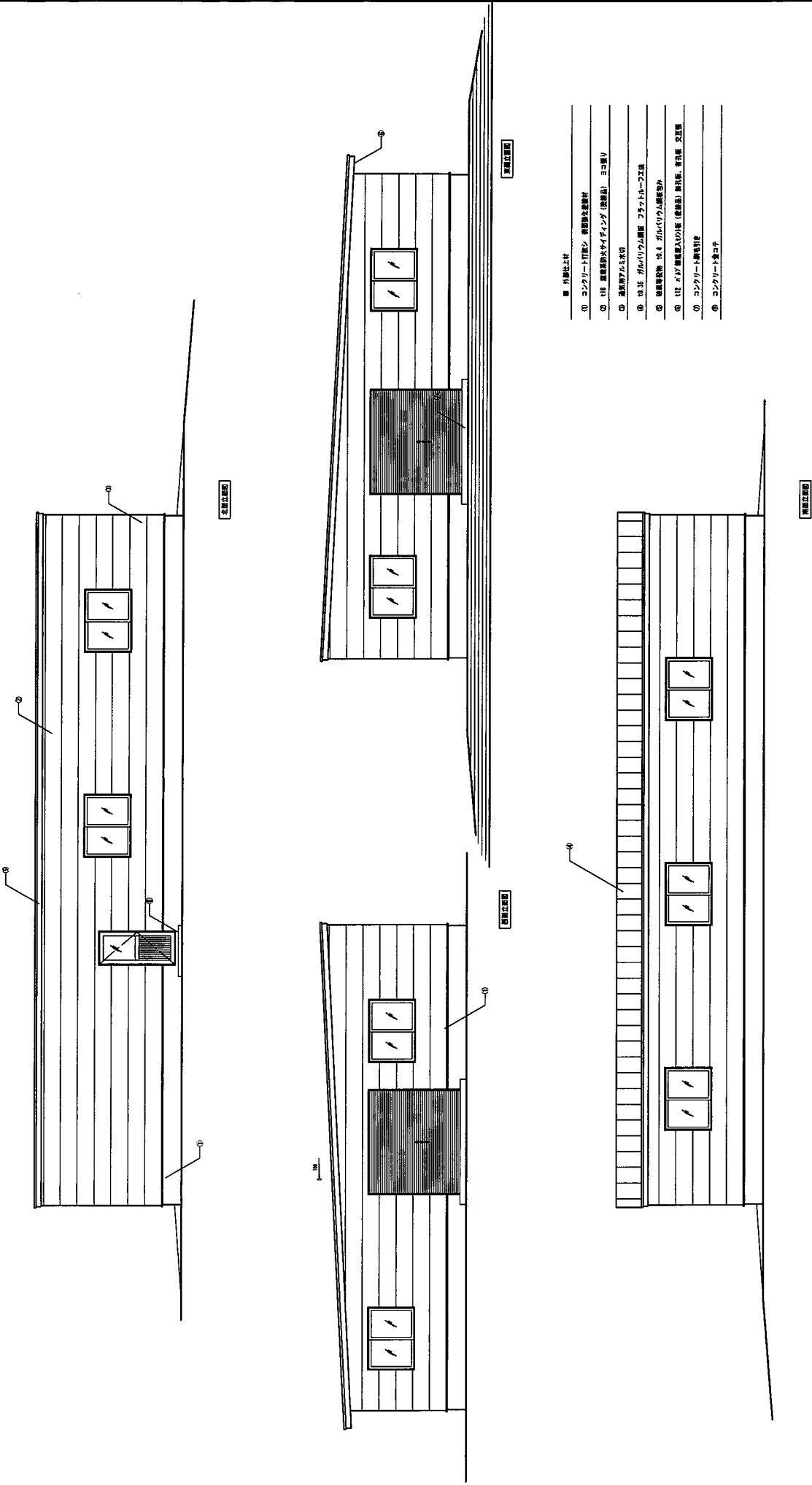
将来的には、その他の北方性・冷水性魚類についても、親魚・種苗の一時的な蓄養（夏場）としての深層水に活用や漁港内を利用した海面養殖との併用についても模索する。

#### ○今後の展開

今後の展開ビジョンとして、日本海側の試験にとどまらず、噴火湾側の試験も行い、八雲町全体の水産業の課題解決と水産業の振興を図ることを目的とする。

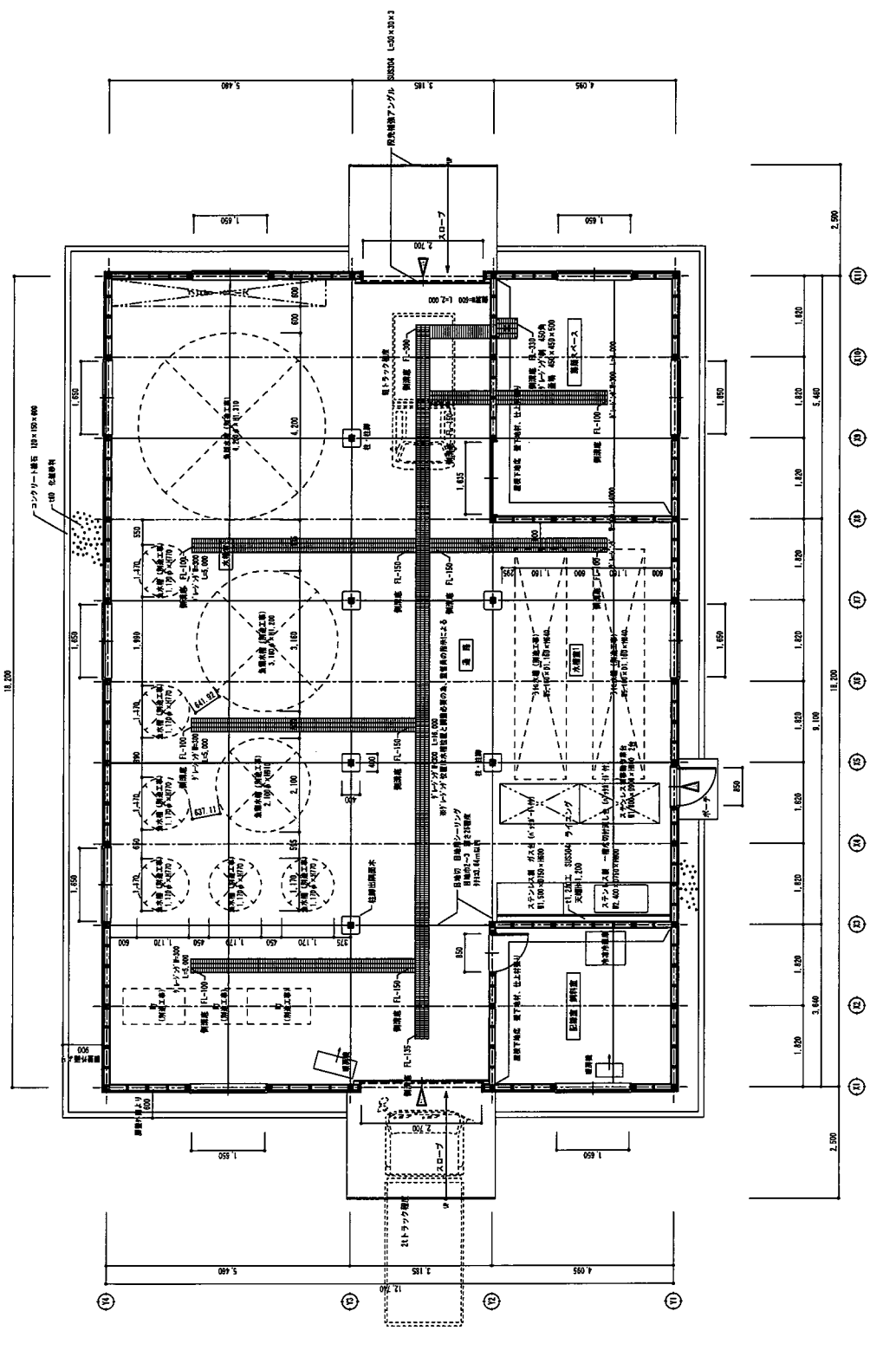
また、今回の共同研究では、陸上での養殖試験研究を行い、将来的には海面養殖への展開や陸上養殖の事業化も視野に進める考えである。





- 外観仕様
- ① コンクリート打設、躯体強化材料
  - ② 1F 高層防水サイディング (樹脂系) ココロリ
  - ③ 遮光アルミサッシ
  - ④ 10.35 ガルバリウム鋼板 フラットロール工法
  - ⑤ 屋根骨格 10.4 ガルバリウム鋼板
  - ⑥ 1F 外壁 樹脂系サイディング (樹脂系) 無垢系、珪藻土、交互壁
  - ⑦ コンクリート断熱材
  - ⑧ コンクリート塗工

図番	図名	比例	作成	校核	承認	訂正	備考
	立面图	S=1:50(1/00)					
函館設備設計家協同組合 <small>HOODEN KOUGAKU KAI</small> (有) フクダ設備設計事務所 〒040-0204 北海道函館市南十町1丁目1番1号							
工事名称 黒石地域水産試験研究実験棟新築 工期 名称 工事							
図面番号 H30 8 第 1 頁 図面枚数 10/24 A-08							



図面番号	図面名称	工種	設計者	監理者	製図者	承認者	縮尺	日付	頁数
...	平面詳細図	工業	...	...	...	...	S=1:50 [100]	H30.6	A-10
図面設計者 協同組合 東京都建設局 建築部 建築設計課 〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 (株) フォア建築設計事務所		工事名称 熊石地味水産試験研究棟新築							

